富秋中学校区（池上小学校・幸小学校・富秋中学校）

ミライの学校を創るプロジェクト News No.２３

富秋中学校 池上小学校 幸小学校

令和8年11月

第18回

令和8年7月30日（木）に第18回学校開校準備委員会を開催し、施設整備、閉校式、校歌、通学路の安全対策等の説明を行いました。

1.施設整備　デジタルサイネージを導入します！



槇尾学園の導入例

学校の情報を「リアルタイムに・わかりやすく」発信

・動画・写真で直感的に伝達

・行事・連絡の即時反映

・情報掲載量の拡大・掲示物の削減

各階5か所　合計15か所に設置

1階　：各学年教室前、昇降口、体育館前、給食室

2階・3階：各学年教室前、交流ラウンジ

2.閉校式　池上小学校、幸小学校で閉校式を開催します。



日程：令和9年3月20日(土)

■午前　学校主催　閉校記念式典

池上小学校　9：00～　／　幸小学校　10：30～

（各1時間程度予定）

■午後　地域主催イベント

※卒業式・・・中学校 3月12日(金)、小学校 3月17日(水) ※他校と同じ。

修了式・・・小中3校 3月19日(金)　※他校は3月24日(水)

3.校歌　校歌が完成しました！

富秋学園校歌　**君がいるから**

作詞作曲　松室政哉

僕がわらった　君もわらった
気づいたらここが居場所になってた
時は流れ　景色が変わっても
おんなじ風が吹いている
君がいるから　君がいるなら
希望へと虹は　つづいていくよ

僕がないてた　君もないてた
ここにいていいよと言われたみたい
夢は光る　未来を照らして
ちがった道を歩いても
君がいるから　君がいるなら
幸せの虹は　つづいていくよ

〈松室さんからのメッセージ〉

皆さまから応募いただいた中で「学校が自分がいていいと思える場所だった」という言葉が心に残り、「ここにいていいと思えた」という感覚がこの校歌のテーマとなっています。さらに、統合前のそれぞれの校歌の言葉を残したいという声も多く、希望(池上小)、幸せ(幸小)、虹(富秋中)を歌詞に入れています。



富秋中学校出身のシンガーソングライター
松室政哉さん

中学３年生でバンド「インディカ29」を結成
現在はシンガーソングライターとして活動するほか、アーティストへの楽曲提供やプロデュースを実施

4.富秋学園開校に伴う学校施設開放事業への影響について　使用団体と調整していくことを報告しました。

3校の閉校に伴い、運動場及び体育館の学校開放施設が富秋学園の1校に集約されるため、使用団体との調整方法やスケジュールについて報告しました。

5.阪和東側1号線の横断対策　警察や地元関係者と協議し、千原街道踏切横断部の安全対策案を決定しました。

＜千原街道踏切＞　＜路線全体＞





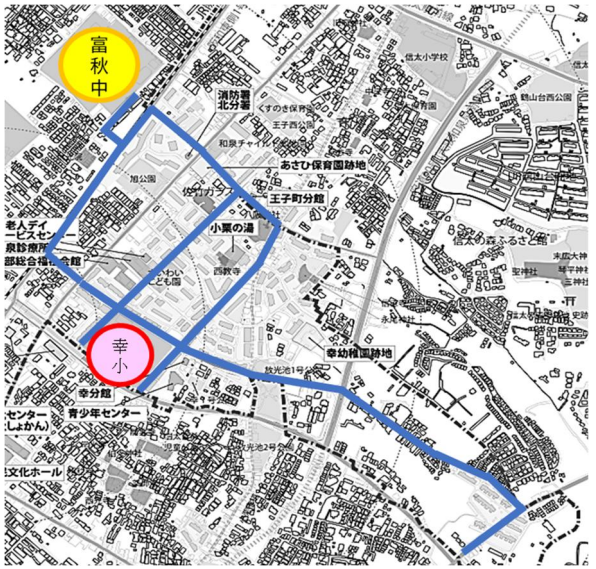
・中央線を消去し、幅員5.0mの車線を整備
・路側線の外側に赤色のカラー帯を設置
・幅員4.0mの狭さく部を設置
・横断歩道は踏切の南側に移設
・歩道にはガードパイプを設置

（イメージ）　※狭さく部は児童横断箇所以外に１箇所設置予定です
※実際の設置位置とは異なります

児童横断箇所を含む一部区間は11月下旬に工事着手予定で、開校までに完了。
残り区間は令和9年度に整備工事を実施。

6.通学路　引き続き、通学路の安全確保について検討を進めています。

幸小学校区の通学路について、教員が実際に通学路を歩き、以下のポイントを考慮しながら改めて安全性を確認しています。



幸小学校区の通学路案（変更の可能性あり）

ポイント
1. 歩道の道幅等が十分にあるところ
2. なるべく車が通らないところ
3. 踏切は１か所のみ使用（人のみが渡るところ）



池上小学校区、葛の葉町を含め、詳細な通学路案は改めてお示しします。

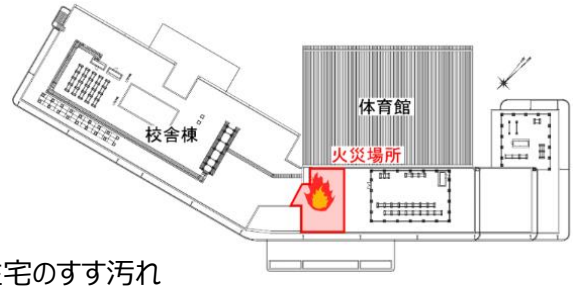
第１９回

令和8年9月30日（水）に第19回学校開校準備委員会を開催し、富秋学園の建設現場で発生した火災の原因や対応について説明しました。

地域説明会

令和8年10月15日（木）に火災事故と工事再開に向けた説明会を開催しました。

火災事故の概要



【火災発生日時】
・7月29日(水)12時55分
【火災発生場所】
・新校舎東側屋上で火災発生
【被害状況】
・一部近隣において体調不良や住宅のすす汚れ
・新校舎の屋上や縦樋、ガラスが一部損傷、消火活動による水濡れ等






【原因】
・屋上のアスファルト防水作業中、昼休憩時に作業員がアスファルト溶融釜の消火を忘れ、釜の過加熱で圧力が上昇し、上蓋が外れ、溶融アスファルトが飛散し、出火。

火害診断の実施

火災による構造部材への影響を客観的に評価するため、第三者機関である一般財団法人日本建築総合試験所による火害診断を実施



【診断方法】
一次調査・・・目視による変状観察、打音検査によるコンクリート浮き有無の確認
二次調査・・・コンクリートの反発度測定、コンクリートコア圧縮強度試験

【診断結果】



・屋上スラブ等にコンクリートの爆裂が確認されたが、損傷は内部の鉄筋に至らなかった
・コンクリートの反発度は、火災影響部と非損傷部で明瞭な差異がなかった
・コンクリートコア圧縮強度試験では、設計基準強度以上であることが確認された
⇒構造上主要な屋上床コンクリートの強度に問題がないことを確認

修繕計画と今後の対応

修繕工事　：コンクリート表面の損傷を修繕。
　　外部仕上の焼損、すすによる汚損等は、被害範囲より広く撤去し、再施工。
再発防止策：安全管理体制強化（専任の安全管理責任者の常駐配置、担当工事部長の現場巡視の強化、安全衛生パトロールの強化など）。

質疑応答(抜粋)

建物の強度に対する不安や今後の安全対策に関することなど、様々なご質問やご意見をいただきました。

Q　火事が起きたときにいた子どもにケアは行っていますか？

A　全ての子どもを対象にスクールカウンセラーを対応できるよう準備しています。中学校の先生方には、子どもたちの日常を見守り、異変がないかしっかり見てもらっています。

Q 火災事故に伴う再発防止策以外に、高所での作業等危険な作業に対する安全対策はどうなっていますか？

A 従来の安全対策に加えて、安全管理体制を強化して対応します。

Q　朝早くから21時までの作業となると、疲労によりまともな作業ができるのでしょうか。

A 一人の作業員の負担を増やすのではなく、増員・交代により対応します。

Q　屋上の床スラブの強度や建物の構造に問題はないのでしょうか。

A　屋上の床スラブは、コンクリートコア圧縮強度試験で設計基準強度を大幅に上回る、健全部と比較して遜色ない強度が確認でき、構造計算上も十分な耐力が認められるため、補修を行うことで使用可能です。

Q　事故後、コンクリートへの雨による浸水はないでしょうか。

A　一部はアスファルト防水が完了しており、その他のコンクリート表面が欠損した部分などについては、シートで養生するなど雨水が当たらないよう対策しているため、漏水などは発生していません。

Q　これから何十年と続く学校なので、突貫工事ではなく、きっちり進めていただきたいです。

A　中長期にわたり安全性を確保できるよう、安全を最優先にしながら品質を確保して工事します。

工事再開について

11月4日（水）から工事を再開しました。

説明会でいただいたご意見を踏まえ、火災の原因となったアスファルト防水工事については、**火気を使わない防水工法（冷工法）に変更**し、令和9年4月開校をめざします。
今回の件を真摯に受け止め、二度とこのような事態が起きないよう万全の安全管理体制のもと、工事を進めてまいります。

工事再開の詳細について、HPにアップしてます。右の二次元コードからご覧ください。

ニュースレターをメール配信中！
ニュースレターの配信を希望される方は、右の二次元コードを読み取っていただき、お名前、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。

（問合せ先）和泉市教育委員会事務局
教育部 教育総務課
（TEL）0725-99-8196
（E-mail）tomiaki@city.osaka-izumi.lg.jp